

Aichi

あいちの学童保育

県連協ニュースNo. 4号

2020年12月1日発行

愛知学童保育連絡協議会

TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324

Email:aichigakudou@gakudou.biz

http://gakudou.me/

新型コロナウイルス感染症対策について



県連協では、加盟地域連協や単独加盟学童保育所の運営委員や役員、その関係者が年6回（例年7月、9月、11月、1月、3月、そして4月）集まって、運営委員会を開いています。県全体での運動課題を共有したり、各地域の課題について交流しています。また組織強化や活性化、状況把握、連携も図っています。

新型コロナウイルス感染症対策についても、県連協の運営委員会で継続的に話し合っています。今回（11月8日）は、国の給付金活用、自治体独自の給付状況の情報交換をするとともに、感染者、濃厚接触者が出た場合の対応マニュアル化について交流しました。

すでにいくつかの地域では、どういう判断をすべきか、消毒などどうするかといった話し合いは進んでいますが、ほとんどマニュアル化には至っていません。大きくは行政判断に従いますが、国のガイドライン等も変わって来ており、学校なども状況に応じて対応を変えてきています。再度、自治体に感染者、濃厚接触者が出た場合の対応など確認しておきましょう。

現場判断が迫られる場合もあるでしょう。先日の

Web アンケートにも不安や心配の声が寄せられていました。指導員体制が不十分なため、高齢者家族がいる、妊婦であるなど個々の事情を考慮できない事例もありました。また、濃厚接触者の扱いがマニュアル化されていないことを不安視する声がありました。

もし、感染者や濃厚接触者が出ても当該者を追い詰めるようにしようねという話し合いをした保護者会の報告がありました。個々に抱え込まないような配慮が必要ですね。

運営者任せ、自治体任せではなく、日頃から疑問や不安に思うことを率直に出し合い話題にして、学童保育の生活を見渡したり、他の家庭や現場の指導員に思いを寄せていくことが大切です。過度な対応になっていないか、不足な点はないかチェックしつつ、学童保育の生活を守っていきましょう。

森井県議会議員が運営委員会に参加

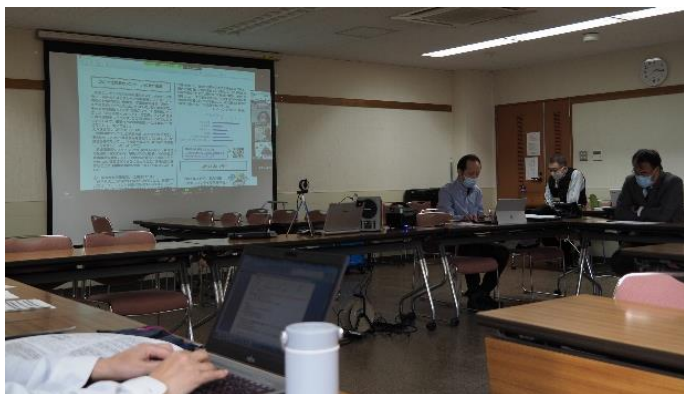


森井県議

11月8日、県連協運営委員会に新政あいちの森井県議会議員（以下、県議）に来ていただき、県議会議員の役割、懇談のコツなど教えてもらいました。

森井県議と学童保育のつながりは10年に及びます。きっかけは学童保育関係者からの相談でした。「会派の中で政策懇談をしているが、議員と学童保育関係者、個々の信頼関係の積み重ねが政策を検討する際に反映されると感じている」「議員には子どもたちの生活や学童保育の真髓をストレートに伝えてほしい」「困っていることを県議会議員に伝えることが有効な手立てとなることも多々ある」と話されました。

森井県議は11月議会で学童保育の平準化について質問に立つ予定です。学童保育を応援してくれる議員を増やすこと、それが施策改善につながります。そのためにも議員と継続的に繋がっていきましょう。



県連協運営委員会の様子

厚生省施策学習会中止のお知らせ

毎年 1 月に開催されている「厚生労働省による学童保育施策学習会」は、新型コロナウイルス感染症の影響にて、今年度は中止することとなりました。

2021 年度予算概要など新しい情報が入り次第、情報提供をまいります。

ほいく誌コラム

■2020年10月号・11月号 実践ノート・分割後の生活を考える①を読んで

私の勤務する学童保育所は昨年度在籍数58名いました。小学校に通う人数も増加傾向にあり、今後、学童保育を利用する人数も増える見込みもあったことから、今年度分割をしたところだったこともあり、このタイトルが目に入り、記事を読みました。

読んで自分が一番心に残った部分は、この記事の中で「マンガは1日1冊」「ボードゲームなどを行うのは雨の日のみ」という学童保育でのルールがあります。なるべく外での遊びに魅力を感じてもらいたい、外あそびの時間が限られていることもあってルールを設けることで外にいくきっかけを作りたいという指導員の思いからのルールでした。でも他者から「変なルールじゃない？」と言われ、「ずっとマンガばかり読んでしまう」と答えると「好きで読んでいるなら、それもありませんか？」と言われ「そうだよなぁと思って。なんでこのルールがあるのかなって」思い、同僚の指導員がそのルールの意味を答えられなかったそうです。

私の勤務する学童保育も前任者から引き継いだころ、施設（借家）内で、子どもがトイレに行く時に、「トイレ行ってきます」と指導員に言っていました。なので「何でわざわざ言うの？」と子どもに聞くと「言わないといけない」と言います。ルールだったようです。トイレへ行くのに指導員に言わないといけないのか？と思った頃のことを思い出しました。今はそのルールもなくなりました。前任者の方も何か意味があり、作ったルールだとは思いますが、みなさんから見てどうですか？

ルールは何のためにあるのか？ルールで子どもたちを縛りつけていないか？今一度、保育の中で考えなければと思いました。

ほいく誌を読むと自分の保育を振り返った時に考えさせられることや気づくことがあると思います。指導員のみなさん、ぜひ読んでみてくださいね。

(尾張旭市・指導員)

新型コロナウイルスに関する web アンケート詳細結果

先日、新型コロナウイルス感染症に関する学童保育 web アンケートを「指導員向け」、「運営者向け」、「保護者向け」の3つに分けて実施しました。皆さん、ご協力ありがとうございました。その詳細結果を県連協ホームページにて掲載しておりますので、ご覧ください。

あいち学童保育研究集会について

第37回あいち学童保育研究集会は、オンラインにて開催予定です。詳しい内容や時間などは実行委員会にて話し合いながら決めている最中です。随時、お知らせしていきます。(下記のQRコードをご活用ください)

県連協 HP



愛知学童保育連絡協議会のHPのURLが短くなりました！！ブックマークはこちらをお願いします♪

<http://gakudou.me/>に変わりました★

研究集会 HP



<http://gakudouhoiku.net/>今年度バージョンにリニューアル★

